

2019 年 市民が選ぶ 横浜 10 大ニュース が決定しました

年末恒例、横浜市内で起こった出来事や市政ニュースについて投票いただく「横浜 10 大ニュース」
今年、**4,533 人**の市民の皆様から投票いただき、次のとおり決定いたしました。

- | | | |
|---------------|---|-----------|
| 第 1 位 | 横浜でラグビーワールドカップ 2019™開催
横浜国際総合競技場で日本代表戦や決勝を含む 6 試合を開催し、ファンゾーンをはじめ市内が大きな感動と興奮に包まれた。(9~11 月) | <3,383 票> |
| 第 2 位 | 相鉄線と JR 線が相互直通運転へ
西谷駅から新駅の羽沢横浜国大駅を經由し、相鉄・JR 直通線が 11 月 30 日から開業した。(11 月) | <2,342 票> |
| 第 3 位 | 金沢シーサイドライン・市営地下鉄で列車事故
金沢シーサイドラインは新杉田駅で逆走し車止めに衝突、地下鉄ブルーラインは下飯田駅付近での脱線と踊場駅引込線で事故が発生した。(6,8 月) | <2,286 票> |
| 第 4 位 | 台風が相次ぎ猛威をふるう
台風 15 号では家屋破損や金沢産業団地の浸水、南本牧はま道路の損傷など甚大な被害発生。市は中小企業や農業者等を支援、施設の早期復旧に取り組む。(9,10 月) | <2,161 票> |
| 第 5 位 | 京急線でトラックとの衝突による脱線事故
京急線下り快特列車と神奈川区内の踏切で立ち往生したトラックが衝突する事故が発生した。(9 月) | <2,107 票> |
| 第 6 位 | IR (統合型リゾート) 誘致を表明
山下ふ頭での IR の実現に向けて、本格的な検討・準備を進める。第 3 回市会定例会で必要な調査費等の補正予算が成立した。(8,9 月) | <1,948 票> |
| 第 7 位 | 新港ふ頭に新たな客船ターミナル
ホテル・商業施設からなる日本初の複合施設、新港ふ頭客船ターミナル(「横浜ハンマーヘッド」)が供用開始した。(10 月) | <1,747 票> |
| 第 8 位 | 横浜 DeNA ベイスターズが初の CS 本拠地開催
球団創設 70 周年を迎え、セ・リーグ 2 位となりシーズン観客動員数は過去最高の 228 万人を超えた。(9,10 月) | <1,536 票> |
| 第 9 位 | 市営地下鉄ブルーラインを延伸へ
あざみ野から新百合ヶ丘まで延伸へ、林市長と福田川崎市市長が覚書を締結し、両市連携のもと、2030 年開業を目指す。(1 月) | <1,200 票> |
| 第 10 位 | 「平成」から「令和」へ改元
5・10 月に市庁舎・区役所に天皇陛下御即位奉祝記帳所を設置し、多くの市民がお祝いの記帳に訪れた。(5,10 月) | <1,163 票> |

第11位以下は、裏面のとおりです。

第 11 位以下 (2019 年 横浜 10 大ニュース)

順位	項目	票数
11	横浜開港 160 周年 市政 130 周年、港北区・戸塚区は区制 80 周年、旭区・港南区・瀬谷区・緑区も区制 50 周年を迎え、市内各地でイベントを開催した。(4,6,10 月)	1,156
12	消費税率 10%に引上げ 横浜市プレミアム付商品券を発行するとともに、幼児教育・保育の無償化がスタートした。(10 月)	1,023
13	小児医療費助成の対象拡大 子どもの通院助成の対象年齢を「小学6年生まで」から「中学3年生まで」に拡大する。(4 月)	972
14	金沢八景駅がますます便利に 金沢シーサイドラインの延伸と京急線金沢八景駅の橋上化で2つの駅がつながり、駅前交通広場も完成したことで、利便性が大きく向上した。(3 月)	919
15	横浜駅のバリアフリー化進む 中央自由通路から相鉄ジョイナス(旧ダイヤモンド地下街)への地下連絡通路が開通した。(12 月)	794
16	現市庁舎跡地の再開発計画が決定 現市庁舎の一部を保存活用したレガシーホテルやスポーツや音楽を楽しめるライブ施設、新産業創造拠点などが入る新たな賑わい拠点となる。(9 月)	776
17	横浜市センター南パスポートセンターが新設 パスポート発給事務の県から市への移譲を受け、センター南駅1階に設置した。(10 月)	719
18	「ランチ横浜南部市場」が開業 横浜南部市場の賑わいエリアにオープンし、地域と人が「食」でつながる交流拠点を目指す。(9 月)	714
19	みなとみらいに新たな企業拠点が続々とオープン 資生堂グローバルイノベーションセンター・京セラみなとみらいリサーチセンター・京急グループ本社等が開設した。(4,7,9 月)	707
20	横浜港に外国クルーズ客船が4隻同時着岸 大黒ふ頭客船ターミナルが供用開始。日本初の発着クルーズ4隻同時着岸。客船見学施設としてスカイウォークを9年ぶりに開放した。(4,5 月)	682
21	横浜アンパンマンこどもミュージアムが移転オープン みなとみらい 60・61 街区に移転し、これまでよりも広い、全天候型のエンターテインメント施設に生まれ変わる。(7 月)	680
22	第7回アフリカ開発会議が横浜で開催 市内での開催は3回目。アフリカ関連イベント等を数多く実施し、アフリカとの連携・協力・交流を深めた。(8 月)	649
23	ガーデンネックレス横浜 2019 全 18 区で取り組み、横浜のまちが花と緑で色鮮やかに。市の花・バラを主役にした「横浜ローズウィーク」も初開催した。(3~12 月)	639
24	横浜ベイブリッジ開通 30 周年 横浜アリーナ・横浜美術館・横浜みなと博物館(旧横浜マリタイムミュージアム)・みなとみらい動く歩道も 30 周年を迎えた。(3,4,9,11 月)	603
25	パートナーシップ宣誓制度の新設 性的少数者や事実婚の2人を対象とした、パートナーシップ宣誓制度を実施した。(12 月)	479
26	横浜 F・マリノスが J1 優勝 シーズンの最終節が日産スタジアムで行われ、Jリーグ史上最多の観客(約 6万4千人)の大歓声の中、15 年ぶり4回目の優勝。(12 月)	462
27	ズーラシア 20 周年・こども植物園 40 周年 20 周年、40 周年を特別展示でお祝い。ズーラシアでは、記念式典や記念商品の販売など様々な記念イベントも行った。(4,6 月)	461
28	東京 2020 オリンピック・パラリンピックまであと1年 スポーツ体験やステージ、全 18 区が参加した盆踊りなどを行う1年前イベントを開催し、大会に向けた盛り上げを加速した。(7,8 月)	459
29	横浜マラソン2019 第5回の節目を迎え開催 今年は新たな名所がコースに加わり、国内外から2万8千人のランナーが令和最初の秋の思い出に港町横浜を駆け抜けた。(11 月)	421
30	日本最大級の音楽の祭典「横浜音祭り2019」 葉加瀬太郎やももいろクローバーZなど、様々なジャンルの公演から市民参加のステージまで、街中が音楽で溢れた。(9~11 月)	414
31	市の外国人人口が初めての 10 万人超え 8 月には外国人への総合的な情報提供・相談対応等を行う「横浜市多文化共生総合相談センター」が開設した。(4,8 月)	369
32	国際園芸博覧会の招致推進 国際園芸博覧会の承認機関である国際園芸家協会の年次総会において、市として 2027 年国際園芸博覧会の開催申請を行い、承認された。(9 月)	324
33	光のイベント「NIGHT SYNC YOKOHAMA」初開催 新港地区を中心に、山下公園など全5か所で先端技術を活用し、美しいイルミネーションの光で横浜の街を包む。(11~12 月)	315
34	消防団員充足率 100%達成 全国的に消防団員が減少傾向である中、横浜市では、消防団員定数(8,305 人)の充足率 100%を達成し、消防団の充実強化が図られる。(1 月)	251
35	桐蔭学園高校ラグビー部が活躍 第 98 回全国高等学校大会で準優勝、第 20 回全国高等学校選抜大会では3年連続3度目の優勝をした。(1,4 月)	248
36	世界トライアスロンシリーズ横浜大会節目の 10 回開催 第 10 回記念大会として 46 万人が観戦した。パラトライアスロンはシリーズ化以降、世界で唯一3年連続開催となった。(5 月)	228
37	「IAAF 世界リレー」が日本で初開催 リレー種目のみで競う陸上の国際競技大会が開催され、世界のトップアスリートが横浜国際総合競技場に集結した。(5 月)	165
38	フランス・リヨン市との姉妹都市提携 60 周年 リヨン市から市長一行が来訪。市長同士の面会にて今後の交流推進に向けた意見交換を行い、60 周年を記念してバラを受贈した。(5 月)	134
39	フランス映画祭 2019 不朽の名作「男と女」の名匠、クロード・ルルーシュ監督が新作と共に来浜するなど、昨年に引き続き華やかに横浜で開催した。(6 月)	129
40	アジアスマートシティ会議が G20 及び ASEAN と初の連携開催 アジア諸都市に加え世界の関係者が一堂に会し議論し、国内外のスマートシティ推進体制の強化につなげた。(10 月)	60

※ 順位に丸囲いがあるものは、候補ニュース以外の自由記入のニュース。

- 1 投票対象：横浜市在住の方
- 2 投票者数：4,533人(詳細は「年代別・性別の投票者数/構成比」をご覧ください。平成30年は3,824人)
- 3 投票期間：令和元年11月21日(木)～12月11日(水)
- 4 投票方法：インターネット及びはがき
2019年の1年間、横浜市内で起こった出来事や市政ニュースなど39項目の候補ニュースを提示し、お一人最大10項目を選んでいただきました。なお、候補ニュースにないものは自由記入をお願いしました。
- 5 その他：抽選で合計500名様に横浜ゆかりの賞品をプレゼントします。

■年代別・性別の投票者数/構成比

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計(※)
男性	101	180	324	554	519	412	298	2,392
女性	67	203	488	537	444	191	130	2,062
計(※)	175	388	820	1,098	970	611	434	4,533
(構成比)	3.9%	8.6%	18.1%	24.2%	21.4%	13.5%	9.6%	

※計にはそれぞれの不明分等が含まれます。

■男女別トップ3

順位	男 性	女 性
1	横浜でラグビーワールドカップ 2019™開催 <1,772 票>	横浜でラグビーワールドカップ 2019™開催 <1,565 票>
2	相鉄線とJR線が相互直通運転へ <1,380 票>	金沢シーサイドライン・市営地下鉄で列車事故 <1,017 票>
3	金沢シーサイドライン・市営地下鉄で列車事故 <1,245 票>	台風が相次ぎ猛威をふるう <1,010 票>

■世代別トップ3

順位	20歳未満	20歳代
1	横浜でラグビーワールドカップ 2019™開催 <95 票>	横浜でラグビーワールドカップ 2019™開催 <239 票>
2	横浜 DeNA ベイスターズが初のCS本拠地開催 <75 票>	相鉄線とJR線が相互直通運転へ <174 票>
3	金沢シーサイドライン・市営地下鉄で列車事故 <70 票>	金沢シーサイドライン・市営地下鉄で列車事故 <166 票>

順位	30歳代	40歳代
1	横浜でラグビーワールドカップ 2019™開催 <605 票>	横浜でラグビーワールドカップ 2019™開催 <807 票>
2	相鉄線とJR線が相互直通運転へ <382 票>	相鉄線とJR線が相互直通運転へ <581 票>
3	金沢シーサイドライン・市営地下鉄で列車事故 <380 票>	京急線でトラックとの衝突による脱線事故 <537 票>

順位	50歳代	60歳代
1	横浜でラグビーワールドカップ 2019™開催 <762 票>	横浜でラグビーワールドカップ 2019™開催 <513 票>
2	相鉄線とJR線が相互直通運転へ <545 票>	台風が相次ぎ猛威をふるう <399 票>
3	台風が相次ぎ猛威をふるう <544 票>	金沢シーサイドライン・市営地下鉄で列車事故 <363 票>

順位	70歳以上
1	横浜でラグビーワールドカップ 2019™開催 <338 票>
2	台風が相次ぎ猛威をふるう <261 票>
3	金沢シーサイドライン・市営地下鉄で列車事故 <255 票>

※ゴシック体は総合トップ3と異なるもの。

【参考】平成30年の結果（上位10位まで）

順位	項目
1	成人式の晴れ着トラブルで市民や団体等から支援の申出多数、横浜市は特設ホームページや相談窓口を設置（2,063票）
2	南区出身で「横浜にぎわい座」2代目館長、落語家の桂歌丸さんが死去（81歳）（1,935票）
3	相鉄線 星川駅～天王町駅間が全線高架化 事業開始から16年の歳月を経て、高架区間内の全ての踏切がなくなる（1,654票）
4	暑い夏 平年に比べ梅雨明けが22日早く、市の調査では熱帯夜が51日と最多日数を観測 熱中症による救急搬送人員が過去最多の1,711人に（1,560票）
5	横浜DeNAベイスターズ、3年連続のCS出場は果たせずも、シーズン観客動員数が球団史上最多となる200万人に到達（1,540票）
6	横浜のまちを花と緑で彩る「ガーデンネックレス横浜2018」を開催（1,267票）
7	市内で東京2020オリンピック各種競技（野球・ソフトボール、サッカー）の決勝戦が開催決定 大会本番に向けて横浜市・都市ボランティアも募集開始（1,255票）
8	京急創立120周年、JR横浜線開業110周年、さまざまな記念イベントを実施（1,244票）
9	横浜マラソンが2年7か月ぶりに開催 快晴の秋空の下、2万8千人のランナーが横浜のまちを駆け抜ける（1,241票）
10	市営地下鉄グリーンラインが開業10周年、市営バスは開業90周年（1,189票）

【参考】平成元年からの横浜10大ニュース「第1位」

年	項目
平成30年	成人式の晴れ着トラブルで市民や団体等から支援の申出多数、横浜市は特設ホームページや相談窓口を設置
平成29年	横浜DeNAベイスターズ、19年ぶりの日本シリーズ進出
平成28年	横浜DeNAベイスターズがCSファイナルステージ初進出、観客動員数が約194万人で球団史上最高を更新
平成27年	市内のマンションや中学校等で建物のくい打ちデータの流用等が確認される
平成26年	首都圏で記録的大雪、横浜の積雪28センチは観測開始以来7番目の多さ
平成25年	みなとみらい線、東横線と副都心線が直通運転を開始、横浜市中心部と埼玉県西部が繋がる
平成24年	横浜ベイスターズが新生チームとして始動
平成23年	東日本大震災発生 市内でも震度5強観測
平成22年	APEC首脳会議、横浜で開催
平成21年	中田横浜市長（当時）退職
平成20年	横浜市営地下鉄の新路線グリーンラインが開業
平成19年	県内最大級の商業施設「ららぽーと横浜」がオープン
平成18年	横浜市長選挙で中田市長再選
平成17年	G30ごみ分別拡大全市実施 工場の改修費1100億円節減へ
平成16年	みなとみらい線開業
平成15年	統一地方選挙実施・23人の新人の市議員が誕生・松沢新知事誕生
平成14年	2002年ワールドカップサッカー大会決勝戦 横浜で開催
平成13年	米国同時多発テロ発生（ニューヨークの世界貿易センタービルなどで同時多発テロが発生）
平成12年	青葉区在住の筑波大学名誉教授白川英樹氏がノーベル化学賞を受賞
平成11年	横浜市大病院患者取り違え手術（肺の手術患者と心臓の手術患者を取り違えて手術）
平成10年	横浜ベイスターズ38年ぶり日本一セ・リーグ制覇に続き、日本シリーズでも優勝 優勝効果で市内経済も活性化
平成9年	7万人を収容する国内最大級のスタジアム「横浜国際総合競技場」が港北区に完成
平成8年	少雨のため異常渇水対策本部を設置 2月、3月及び7月に給水制限を実施した
平成7年	阪神・淡路大震災発生 横浜市内では被災地に物的・人的援助を行うとともに、市内の防災対策について、避難場所の見直し等の様々な施策を展開した
平成6年	輸入米の本格的な販売が始まる。国産米指向の一部消費者の買いだめなどから、米不足に市内スーパーでも米を求める行列ができた
平成5年	高さ296メートルの日本一の超高層ビル「ランドマークタワー」がオープン 展望フロアに長蛇の列
平成4年	大和市で警官殺傷の容疑者が緑区長津田付近に逃走 幼稚園・小中学校が休校に
平成3年	東京湾を囲む地域で、コレラの感染者が発生。アオヤギが疑われたが、感染経路不明
平成2年	細郷市長が死去、市葬が3月7日に横浜アリーナで行われた
平成元年	市政100周年・開港130周年を記念し横浜博覧会が開催される 191日間1335万人

※ 「横浜10大ニュース」は昭和56年にスタートし、今回で39回目となります。

お問合せ先
市民局広聴相談課長 近藤 武 Tel 045-671-2301